

目次

平成26年度 観光の状況

第1部 平成26年度 観光の動向	3
第1章 世界の観光の動向	3
第1節 世界のマクロ経済の概況	3
第2節 平成26年度の世界の観光の状況	4
第2章 日本の観光の動向	11
第1節 訪日旅行の状況	12
1 訪日旅行の状況	12
2 国際コンベンションの開催状況	16
(1) 世界及び地域別の開催状況	16
(2) アジア主要国と我が国の開催状況	16
第2節 海外旅行の状況	18
第3節 国内旅行の状況	19
第4節 宿泊旅行の状況	20
第5節 東日本大震災からの復興の状況	23
1 観光客中心の宿泊施設の日本人延べ宿泊者数	23
2 観光客中心の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数	23
3 ビジネス客中心の宿泊施設の延べ宿泊者数	24
第6節 地域における観光の状況	25
1 北海道	28
2 東北	28
3 関東	28
4 北陸信越	28
5 中部	28
6 近畿	28
7 中国	29
8 四国	29
9 九州	29
10 沖縄	29
第7節 地域における観光振興の取組	29
1 北海道	29
2 東北	30
3 関東	31
4 北陸信越	32
5 中部	32
6 近畿	33
7 中国	34
8 四国	34

9 九州	35
10 沖縄	36

第II部 拡大するインバウンド消費と変貌する産業・地域	39
第1章 近年のインバウンド消費の現状	40
第1節 インバウンド消費の推移	40
第2節 国際収支の動向	40
第3節 費目別の消費実態	41
1 費目別の消費実態	41
2 買い物における品目別消費実態	42
第4節 国・地域別の消費実態	44
1 国・地域別の消費実態（全般）	45
2 国・地域別の費目別消費実態	46
3 国・地域別の買い物における品目別消費実態	48
4 国・地域別の買い物場所	50
5 国・地域別の決済手段	51
第2章 インバウンド消費拡大の要因	52
第1節 所得要因	52
第2節 品質要因	53
第3節 価格要因	54
1 為替レート	54
2 我が国の外国人旅行者向け消費税免税制度	56
第4節 その他の要因	62
1 海外での訪日プロモーション	62
2 国内でのプロモーション	62
3 免税店の情報発信	62
第3章 インバウンド需要を取り込み変貌する産業・地域	63
第1節 産業	63
1 製造業	63
2 小売業	63
3 金融業	64
4 運送業	65
5 旅行業	65
6 宿泊業	66
7 新たなビジネス創造	66
第2節 地域	67
1 北海道二セコ町	67
2 青森県弘前市	68
3 岩手県平泉町	68
4 山梨県	68
5 富山県等	69
6 石川県鳳珠郡能登町	69
7 岐阜県高山市	70
8 和歌山県	71
9 広島県廿日市市	71

10	徳島県祖谷地区	72
11	九州	72
12	沖縄県	73

第Ⅲ部 平成26年度に講じた施策	77
第1章 「2020年オリンピック・パラリンピック」を見据えた観光振興	77
第1節 オリンピック・パラリンピック開催をフルに活用した訪日プロモーション	77
1 オリンピック・パラリンピック開催国という国際的注目度を活かした オールジャパンによる訪日プロモーション	77
2 近隣諸国の政府観光局と連携した広域プロモーション	77
3 大規模スポーツ国際競技大会との連携	77
第2節 オリンピック・パラリンピックを機にした訪日外国人旅行者の受入環境整備	77
1 空港のゲートウェイ機能の強化	77
(1) 空港のゲートウェイ機能の強化	77
(2) CIQ体制の整備	78
(3) LCCの持続的な成長に向けた取組	78
(4) 首都圏空港におけるビジネスジェットの利用環境の整備	78
2 空港アクセスの改善	78
3 無料公衆無線LAN環境の整備・多言語対応の徹底	79
(1) 無料公衆無線LAN環境整備	79
(2) クルーズ船等が利用するターミナルにおける 無料公衆無線LANの整備・多言語対応	79
(3) 2020年オリンピック・パラリンピックに向けた多言語対応の改善・強化	79
4 多機能フリーパスの検討	79
5 観光案内拠点・観光ガイドの充実	80
(1) 外国人観光案内所のネットワークの拡大	80
(2) 通訳案内士制度の見直しに向けた取組	80
(3) 地域における受入環境整備支援	80
第3節 オリンピック・パラリンピック開催効果の地域への波及	81
1 航空による地方へのアクセスの充実	81
(1) 羽田空港における乗換利便性の向上	81
(2) 航空路線の新規就航・増便を促進するインセンティブ付与	81
(3) 地方空港におけるCIQ体制の整備	81
2 地方への鉄道旅行の促進	81
3 ホストシティ・タウン構想の推進	81
第4節 オリンピック・パラリンピック開催を契機としたバリアフリー化の加速	82
1 公共施設等のバリアフリー化	82
(1) 公共交通機関等	82
(2) 歩行空間	82
(3) 都市公園等におけるバリアフリー化	82
(4) ホームドアの整備促進	82
2 バリアフリー車両の導入促進	83
第2章 インバウンドの飛躍的拡大に向けた取組	84
第1節 インバウンド推進の担い手の拡大	84
第2節 訪日プロモーションの戦略的拡大	84
1 より科学的なマーケティングの実施	84

2	ビザ緩和にあわせた集中的なプロモーション	84
第3節	訪日プロモーションの新たな切り口での展開	84
1	「質の高い」日本の魅力を広めてくれる 成熟した訪日旅行者層（「目利き」）へのプロモーション	84
2	若年層の交流拡大に向けたプロモーション	84
3	トランジット旅客の取込	85
4	地方への誘客に向けたプロモーション	85
5	地方の港湾への誘客に向けた訪日プロモーション	85
6	訪日シーズンの分散化のためのプロモーション	85
7	「和食」の魅力発信	85
第4節	訪日プロモーションの実施体制の整備	86
1	日本政府観光局（JNTO）の訪日プロモーション事業の執行機関化	86
2	アジア最大の国際観光イベントの実現	86
3	二国間関係の強化	86
4	国際機関等への協力を通じた国際観光促進	87
第5節	効果的なメディア戦略	88
1	日本コンテンツの活用	88
2	海外の有力メディアの積極的招請	88
3	放送コンテンツの海外展開に向けた連携	88
4	国際放送による情報発信の強化	88
第6節	オールジャパン体制による連携の強化	88
1	クールジャパン等と一体となった効果的な訪日促進	88
2	政府一体となった日本の魅力の海外発信	89
3	伝統文化やポップカルチャーを活用した観光振興	89
第3章	ビザ要件の緩和など訪日旅行の容易化	91
第1節	ビザ要件の戦略的緩和	91
1	ビザ要件の戦略的緩和	91
2	新たなビザ要件の緩和対象国向けの集中的プロモーション	91
第2節	外国人長期滞在の促進	91
第3節	出入国手続の迅速化・円滑化	91
1	CIQ体制の整備	91
2	空港におけるファーストレーンの設置	91
3	トランジット旅客の取込	92
4	一定範囲の短期滞在者に係る出入国手続の円滑化の実施	92
5	自動化ゲートの利用改善・促進等	92
第4節	本邦航空会社による新規路線の開設やLCCの参入促進等による、 利用しやすい旅行商品の創出	92
1	航空路線の新規就航・増便を促進するインセンティブ付与	92
2	LCCの持続的な成長に向けた取組	92
第4章	世界に通用する魅力ある観光地域づくり	93
第1節	地域連携による情報発信力強化と新たな広域周遊ルートの形成	93
1	広域観光周遊ルートの形成促進	93

2	地域間交流を深める運動の促進	93
3	道路の整備等	93
4	道の駅を核とした地域における観光振興	93
5	外国人が周遊しやすい地域公共交通の確保	94
第2節	地域の魅力を来訪者に体感してもらうための仕組みづくり	94
1	規制制度面での環境整備	94
	(1) 着地型旅行商品の造成促進・販路拡大に向けた制度の検討	94
	(2) 自家有用償旅客運送における周遊案内	94
	(3) 貸切バスの営業区域の弾力化	94
	(4) ツアーオペレーター認証制度の定着	94
2	地域の観光振興の促進	95
	(1) 観光地域のブランド化	95
	(2) 魅力ある観光地づくり	95
	(3) 観光地域づくりの人材の有効活用	95
	(4) ICTを活用した訪日外国人観光動態調査、受入環境整備	95
	(5) 休暇取得の促進	95
	(6) 先進事例の情報提供の強化	96
3	観光地域づくりを担う主体への支援制度	96
	(1) 株式会社地域経済活性化支援機構との連携協定に基づく施策	96
	(2) 地域ブランドの振興	96
	(3) 地域経済の活性化に向けた決済環境や無料公衆無線LANの整備	96
第3節	世界に通用する地域資源の磨き上げ	96
1	魅力ある空間の形成	96
	(1) 景観等に配慮した道路整備の推進	96
	(2) 観光振興に資する道路空間の有効活用等	97
	(3) 魅力ある水辺空間を活用した賑わいの創出	97
	(4) 良好な街なみ環境整備の推進、魅力ある空間の形成	97
	(5) 一般自動車道の魅力発信	97
	(6) インフラツーリズムの推進	97
2	美しい自然を活かして	97
	(1) 日本の自然を活かした地域活性化	97
	(2) サイクルツーリズムの推進	98
	(3) 奄美群島及び小笠原諸島における観光等産業の振興	98
	(4) 沖縄における国際競争力を有する観光地の形成	98
	(5) 国家戦略特区を活用した沖縄における観光振興	98
3	海洋観光の展開	98
	(1) 日韓定期旅客航路の活性化	98
	(2) 瀬戸内海の豊富な海洋資源を活用した観光の振興	99
	(3) 新たなマリンレジャービジネスの創出	99
	(4) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした 海上交通の活性化	99
4	豊かな農山漁村の魅力	99

(1) 外国人旅行者の農山漁村への滞在の促進	99
(2) 普及指導員を通じた農業者の農観連携への取組の推進	99
(3) 農林漁業者と観光事業者等との連携による6次産業化の推進	99
(4) 森林資源の観光への活用	100
5 日本食文化の発信	100
(1) 日本食文化・日本食材の魅力の発信	100
(2) 観光分野における地域食材の活用を促進する取組	100
(3) 空港における食の海外展開等の取組	100
(4) 日本食の情報発信	100
6 文化資源・スポーツ資源・科学技術との連携	101
(1) 「日本遺産 (Japan Heritage)」創設に向けた取組	101
(2) 先住民としてのアイヌ文化等の発信	101
(3) 産業遺産等を活用した観光の普及促進	101
(4) 文化資源・科学技術、科学館・博物館を中核とした科学技術の世界発信	101
第4節 観光振興による被災地の復興支援	101
1 被災地における旅行需要の喚起	101
2 福島県における観光関連復興支援	102
3 国立公園を核としたグリーン復興の取組	102
4 第3回国連防災世界会議を契機とした被災地観光振興	102
第5章 外国人旅行者の受入環境整備	103
第1節 多言語対応の改善・強化	103
1 多言語対応ガイドラインの徹底	103
2 多言語アプリの活用	103
3 地図の多言語対応	103
4 外国人旅行者に分かりやすい地図・ナビゲーション	103
5 道路の案内標識等	104
6 「道の駅」における受入環境整備	104
7 鉄道の駅施設・車両・外国語案内等	104
(1) 災害等による鉄道の輸送障害時の情報提供	104
(2) 多言語対応の案内強化	104
8 外国人が利用しやすいタクシーサービス等	104
(1) タクシーの利用促進に向けた取組	104
(2) 従業員に対する外国語研修の充実	104
9 美術館・博物館での展示解説	105
10 自然公園等の標識・情報提供施設	105
11 ホテル・旅館の外国語放送	105
第2節 無料公衆無線LAN環境の整備促進など、外国人旅行者向け通信環境の改善	105
1 無料公衆無線LAN環境整備を促進するための取組	105
2 外国人旅行者が持込み端末を利用しやすい環境の整備	105
第3節 公共交通機関による快適・円滑な移動のための環境整備	106
1 ICカード・企画乗車券の利便性向上と情報発信	106
(1) ICカード・企画乗車券の普及・利便性拡大の推進	106

(2) ICカード・企画乗車券の利便性向上と情報発信	106
(3) 企画乗車券の利便性向上と情報発信	107
(4) 高速バスの外国人向けフリーパスについての普及促進	107
2 美術館・博物館、観光施設等と相互利用可能な共通パスの導入	107
3 空港アクセスの改善	107
(1) 鉄道による東京圏の空港アクセス改善に向けた取組	107
(2) バスによる首都圏空港のアクセス改善に向けた取組	107
4 貸切バスの供給確保	107
5 レンタカーの利便性向上	108
6 手ぶら観光の実現	108
第4節 「クルーズ100万人時代」実現のための受入環境の改善	108
1 出入国手続の円滑化	108
2 情報発信とターミナルの機能強化	108
(1) 情報発信とターミナルの機能強化	108
(2) クルーズ船の日本への寄港を増加させるための取組	108
(3) クルーズ振興を通じた地域活性化	109
(4) 港湾におけるターミナル機能の強化等	109
第5節 ムスリムおもてなしプロジェクトの実施	110
1 「ムスリムおもてなしの姿勢」の発信	110
2 受入関係者への情報提供の促進	110
第6節 「外国人旅行者向け消費税免税制度」の拡充を契機とした	
ショッピング・ツーリズムの振興と決済環境の整備	110
1 ショッピング・ツーリズムの振興	110
(1) 外国人旅行者向け消費税免税店の拡大に向けた取組	110
(2) 農畜産物のお土産に関する動植物検疫の環境整備	110
(3) 北海道産の農水産品等による観光の推進	110
2 決済環境の整備	111
(1) 決済環境の整備	111
(2) 海外発行クレジットカード等対応ATMの設置推進	111
第7節 外国人旅行者の安全・安心確保	111
1 災害対応	111
(1) 災害時における訪日外国人旅行者への情報提供	111
(2) 宿泊施設の避難所としての活用および耐震化の促進	112
(3) 主要駅周辺等における帰宅困難者対策	112
(4) 地下街の安心安全対策	112
2 不慮の怪我・病気への対応	112
(1) 国内の医療機関における国際化への対応	112
(2) 訪日外国人旅行者への医療に関する情報発信	112
(3) 自動車事故被害者の救済	112
第8節 多様な滞在ニーズへの対応と宿泊施設の情報提供の充実	113
(1) 国家戦略特区制度を活用した多様な滞在ニーズへの対応	113
(2) 外国人旅行者に向けた宿泊施設の情報発信の促進	113

第9節 観光産業の人材育成	113
第6章 MICEの誘致・開催の促進と外国人ビジネス客の取り込み	114
第1節 MICEに関する取組の抜本的強化	114
1 取組対象の抜本的拡大	114
(1) MICEブランディングの構築	114
(2) ミーティング&インセンティブ旅行の取組み	115
2 MICE戦略・強化都市への多面的支援	115
(1) グローバルMICE都市事業	115
(2) MICEアンバサダープログラム	115
3 MICEの受入環境整備	116
第2節 外国人ビジネス客の取込強化	116
1 訪日アクセス等の利便性向上	116
(1) 首都圏空港の機能強化	116
(2) 空港におけるファーストレーンの設置	116
(3) 一定範囲の短期滞在者に係る出入国手続の円滑化の実施	116
(4) 首都圏空港におけるビジネスジェットの利用環境の整備	116
2 ビジネス環境の整備	116
(1) 国際的なビジネス・生活環境の形成及びシティセールスの支援	116
(2) 無料公衆無線LAN環境整備を促進するための取組	117
(3) その他通信環境の整備	117
第3節 IRについての検討	117
第7章 観光旅行の環境整備	118
第1節 宿泊施設、食事施設、案内施設その他の旅行に関する施設及び公共施設の整備	118
1 観光振興に資する地域づくり、街並み整備	118
(1) 官民連携による地域活性化のための基盤整備の推進	118
(2) 広域的な連携による地域活性化の推進	118
(3) 良好な街並み環境整備の推進	119
2 都市再生・地域再生に資する市街地再開発事業の推進	119
第2節 旅行業務に関する取引の公正の維持等	119
第3節 旅行の安全確保	120
第4節 若者の旅行促進	120
第5節 高齢者、障害者、外国人その他の観光旅行者が円滑に旅行できる環境整備	120
1 公共施設等のバリアフリー化	120
2 ユニバーサルツーリズムの促進	121
3 地域公共交通の活性化・再生	121
4 バスの利便性向上	121
5 道路交通の円滑化	121
6 自転車利用環境の整備	121
7 身体障害者等の運賃等の割引等	122
第6節 観光地域における環境の保全等	122
1 国立・国定公園の保護と利用の推進	122
2 世界自然遺産地域の適正な保全・管理	122

3	環境対応車の普及促進による観光地域の環境の保全及びその魅力の向上	122
4	自然と調和した港湾環境の保全・創出	123
5	皇室関連施設の魅力の発信	123
第7節	観光地域における良好な景観の保全	123
1	「景観法」の活用促進、基本理念の普及啓発	123
2	歴史まちづくりの推進	123
3	歴史的風致維持向上推進等調査の実施	124
4	観光地における屋外広告物に関する制度の充実	124
第8節	観光に関する統計の整備	124

平成27年度 観光施策

第IV部 平成27年度に講じようとする施策	129
第1章 インバウンド新時代に向けた戦略的取組	129
第1節 「色とりどりの魅力を持つ日本」の発信と地方への誘客	129
1 広域観光周遊ルートの形成・発信等による地方への誘客	129
(1) 地域連携による情報発信力強化と新たな広域周遊ルートの形成	129
(2) 地方への誘客に向けたプロモーションの実施	129
(3) 地方空港・港湾への誘客に向けた訪日プロモーション	129
(4) 日本政府観光局（JNTO）が先頭に立っての地方誘客	129
2 新たな季節需要・訪日需要の掘り起こし	129
(1) より科学的なマーケティングの実施	129
(2) 訪日シーズンの分散化	130
(3) 航空路線の新規就航・増便を促進するインセンティブ付与	130
(4) 海外の有望な観光関連企業の誘致	130
第2節 欧米からの観光客の取り込み	130
第3節 現地における訪日プロモーション基盤の強化	130
1 日本政府観光局（JNTO）の訪日プロモーション事業の執行機関化	130
2 訪日旅行者数の大幅な増加が見込める市場へのプロモーション	130
(1) 今後大幅な増加が期待できる市場への集中的なプロモーション	130
(2) 中国の内陸部や今後の成長が見込める沿岸部へのプロモーション	130
3 日本政府観光局（JNTO）のウェブサイトの機能強化	131
4 我が国の生活習慣やマナーに関する情報の積極的な発信	131
第4節 オールジャパン体制による連携の強化	131
1 クールジャパンと一体となった効果的な訪日促進	131
2 我が国の多様な芸術文化を生かした観光振興	131
3 海外における日本コンテンツの放送	131
4 国際放送による情報発信の強化	131
5 地域の魅力の情報発信の強化	132
第5節 インバウンド・アウトバウンド双方向での交流促進	132
1 二国間関係の強化	132
2 国際機関等への協力を通じた国際観光促進	132
3 日本人の海外旅行需要の喚起	132
第2章 観光旅行消費の一層の拡大、 幅広い産業の観光関連産業としての取り込み、観光産業の強化	133
第1節 「訪日外国人による観光消費拡大・地域活性化」プログラム	133
1 消費税免税制度拡充を契機とした ショッピング・ツーリズムの振興と地方における消費拡大	133
(1) 免税店の拡大支援	133
(2) 決済環境の充実	133
(3) 海外発行クレジットカード等対応ATMの設置推進	133

2	地方の農林水産物・食品の販売促進	133
(1)	訪日外国人旅行者向け農林水産物及び食品の販売促進	133
(2)	農畜産物のお土産に関する動植物検疫の環境整備	133
(3)	農林漁業者と観光事業者等との連携による6次産業化の推進	133
(4)	北海道産の農水産品等による観光の推進	134
3	質の高い日本文化体験プログラムへの参加促進及び滞在期間の長期化	134
(1)	「日本遺産 (Japan Heritage)」事業の創設	134
(2)	日本文化体験プログラムの充実	134
(3)	先住民族としてのアイヌ文化等の発信	134
(4)	着地型旅行商品の造成促進・販路拡大に向けた制度の検討	134
第2節	幅広い産業のインバウンドビジネスへの参入促進	134
第3節	観光産業の活性化・生産性向上に向けた人材育成等	135
1	観光産業における人材育成	135
2	ツアーオペレーター認証制度の定着	135
第3章 地方創生に資する観光地域づくり、国内観光の振興		136
第1節	広域観光周遊ルートの形成・発信	136
1	広域観光周遊ルートの形成促進	136
2	道路の整備等	136
3	外国人が周遊しやすい地域公共交通の確保	136
第2節	来訪者が地域の魅力を体感し、再び訪れたい観光地域づくり	136
1	「観光地経営」の視点から観光地域づくりを担う主体の形成・支援	136
2	地域の観光振興の促進	136
(1)	観光地域のブランド化	136
(2)	魅力ある観光地づくり	137
(3)	地域の新商品・新サービスの開発の支援	137
(4)	地域経済の活性化に向けた決済環境や無料公衆無線LAN環境の整備	137
(5)	株式会社地域経済活性化支援機構との連携協定に基づく施策	137
(6)	ICTを活用した訪日外国人の観光動態調査、受入環境整備	137
(7)	地域ごとの休日の設定による地域活性化	138
3	「道の駅」を核とした地域における観光振興	138
(1)	「道の駅」を核とした地域における観光振興	138
(2)	農林漁業者と観光事業者等との連携による6次産業化の推進	138
第3節	世界に通用する地域資源の磨き上げ	138
1	魅力ある空間の形成	138
(1)	景観等に配慮した道路整備の推進	138
(2)	観光振興に資する道路空間の有効活用等	138
(3)	魅力ある水辺空間を活用した賑わいの創出	139
(4)	魅力ある空間の形成	139
(5)	インフラツーリズムの推進	139
2	美しい自然を活かして	139
(1)	日本の自然を活かした地域活性化	139
(2)	サイクルツーリズムの推進	139

(3) スノーリゾートの振興	139
(4) 新たなマリレジャービジネスの創出	140
(5) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした 海上交通の活性化	140
(6) 奄美群島及び小笠原諸島における観光等産業の振興	140
(7) 沖縄における国際競争力を有する観光地の形成	140
(8) 沖縄における観光振興	140
(9) 豊富な海洋資源を活用した観光の振興	141
第4節 豊かな農山漁村、日本食・食文化の魅力	141
1 地域における情報発信や受入環境整備等の取組を一体的に行う体制づくり	141
2 地理的表示産品等を活用した観光需要の取り込み	141
3 外国人旅行者の農村漁村への滞在の促進	141
4 日本食文化・日本食材の魅力の発信	141
5 観光分野における地域食材の活用を促進する取組	142
6 空港における食の海外展開等の取組	142
7 日本食の情報発信	142
8 「和食」の魅力発信	142
9 北海道産食の魅力発信	142
第5節 観光振興による被災地の復興支援	142
1 被災地における旅行需要の喚起	142
2 福島県における観光関連復興支援	143
3 国立公園を核としたグリーン復興の取組	143
第6節 LCC・高速バスの持続的な成長に向けた取組	143
第7節 日本の魅力を活かした船旅の活性化	144
1 情報発信機能の強化	144
2 クルーズ船の日本への寄港を増加させるための取組	144
3 クルーズ船の受入環境改善	144
4 港湾におけるターミナル機能の強化等	144
5 瀬戸内海周遊の促進	145
第8節 レンタカーによるドライブ観光の活性化	145
1 地方での利用促進	145
第9節 鉄道の旅の魅力向上	145
第10節 テーマ別観光に取り組む地域のネットワーク化による 新たな旅行需要の掘り起こし	145
第11節 国民の旅行振興に向けた意識醸成・環境整備	145
1 若者の旅行促進	145
2 休暇取得の促進	145
3 海に親しむ旅行商品の充実	146
4 ボランティアガイドの拡大・組織化	146
第4章 先手を打っての「攻め」の受入環境整備	147
第1節 空港ゲートウェイ機能の強化、出入国手続の迅速化・円滑化	147
1 空港のゲートウェイ機能の強化	147

2	出入国手続の迅速化・円滑化	147
	(1) CIQの体制整備	147
	(2) トランジット旅客の取込	148
	(3) 一定範囲の短期滞在者に係る出入国手続の円滑化の実施	148
第2節	宿泊施設の供給確保	148
1	宿泊の需給動向について	148
2	訪日外国人旅行者に向けた宿泊施設の情報発信の促進	148
第3節	貸切バスの供給確保、貸切バスによる路上混雑の解消	148
第4節	通訳案内士制度の見直しによる有償通訳ガイドの供給拡大等	148
第5節	「地方ブロック別連絡会」を最大限活用した、 地域における受入環境整備に係る現状・課題の把握と迅速な課題解決	149
第6節	多言語対応の強化	149
1	空港、駅・車両、道路、旅客船ターミナル	149
	(1) 空港	149
	(2) 駅・車両	149
	(3) 道路	149
	(4) 旅客船ターミナル	149
2	美術館・博物館	149
3	自然公園	150
4	飲食店	150
5	多言語翻訳アプリ・ナビゲーション・地図の開発	150
	(1) 多言語アプリ・ナビゲーションの活用	150
	(2) 地図の多言語対応	150
	(3) 外国人旅行者に分かりやすい地図・ナビゲーション	150
第7節	無料公衆無線LAN環境の整備促進など、外国人旅行者向け通信環境の改善	151
1	無料公衆無線LAN環境整備を促進するための取組	151
2	その他通信環境の整備	151
第8節	公共交通機関による快適・円滑な移動のための環境整備	151
1	ICカード・企画乗車券の利便性向上と情報発信	151
2	美術館・博物館、観光施設等と相互利用可能な共通パスの導入	151
3	空港アクセスの改善	152
4	外国人が利用しやすいタクシーサービス	152
5	手ぶら観光の推進	152
第9節	「クルーズ100万人時代」実現のための受入環境の改善	152
1	情報発信とターミナルの機能強化	152
	(1) 情報発信機能の強化	152
	(2) クルーズ船の日本への寄港を増加させるための取組	152
	(3) クルーズ船の受入環境改善	152
	(4) 港湾におけるターミナル機能の強化等	153
第10節	ムスリムおもてなしプロジェクトの実施	153
第11節	外国人旅行者の安全・安心確保	153
1	災害対応	153

(1) 災害時における訪日外国人旅行者への情報提供	153
(2) 宿泊施設の避難所としての活用および耐震化の促進	153
(3) 主要駅周辺等における帰宅困難者対策	153
(4) 地下街の安心安全対策	153
2 不慮の怪我・病気への対応	154
(1) 不慮の怪我・病気への対応	154
(2) 自動車事故被害者の救済	154
第12節 観光案内拠点の充実、外国人旅行者への接遇の向上等	154
1 外国人観光案内所のネットワークの拡大	154
2 「道の駅」の機能強化	154
3 観光案内拠点における案内機能の強化	154
4 通訳案内士制度の見直しに向けた取組	154
第5章 外国人ビジネス客等の積極的な取り込み、質の高い観光交流	155
第1節 外国人ビジネス客の取り込み強化	155
1 トランジット旅客の取込	155
2 一定範囲の短期滞在者に係る出入国手続の円滑化の実施	155
3 ビジネスジェットの利用環境の整備	155
4 空港におけるファーストレーンの設置	155
第2節 MICEに関する取組の抜本的強化	155
1 MICE誘致による地域の活性化	155
(1) MICEブランディングの展開	155
(2) グローバルMICE都市事業	155
2 戦略的な国際会議の誘致	156
(1) MICE誘致アンバサダー	156
(2) MICEの受入環境整備	156
3 インセンティブ旅行における重点市場の設定	156
第3節 IRについての検討	156
第4節 富裕層の取り込みと外国人長期滞在制度の利用促進	156
第5節 質の高い観光交流の促進	157
1 文化資源、歴史的遺産の観光への活用	157
(1) 「日本遺産 (Japan Heritage)」事業の創設	157
(2) 先住民族としてのアイヌ文化等の発信	157
(3) 北海道における歴史・文化を活用したインバウンド観光の振興	157
(4) 産業遺産等の活用	157
2 文化芸術を通じた国際交流の推進	157
3 歴史・文化等に関心の高い観光客層の取り込み	157
第6節 多様なニーズへの対応と宿泊施設の情報提供	158
1 国家戦略特区制度を活用した多様なニーズへの対応	158
第6章 「リオデジャネイロ大会後」、「2020年オリンピック・パラリンピック」及び「その後」を見据えた観光政策の加速	159
第1節 オリンピック・パラリンピック開催をフルに活用した訪日プロモーション	159
1 大規模スポーツ国際競技大会との連携	159

2	オリンピック・パラリンピック開催国という国際的注目度を活かした オールジャパンによる訪日プロモーション	159
3	近隣諸国の政府観光局と連携した広域プロモーション	159
4	メディア戦略	159
第2節	全国各地の文化プログラムの開催	159
第3節	オリンピック・パラリンピックを機に訪日する外国人旅行者の受入環境整備	160
1	無料公衆無線LAN環境の整備・多言語対応の徹底	160
(1)	交通アクセスにおける無料公衆無線LAN環境整備	160
(2)	2020年オリンピック・パラリンピックに向けた 無料公衆無線LAN環境整備と多言語対応の改善・強化	160
(3)	クルーズ船等が利用するターミナルにおける 無料公衆無線LANの整備・多言語対応	160
2	多機能フリーパスの検討	160
3	東京駅の案内等の改善	160
第4節	オリンピック・パラリンピック開催効果の地方への波及	160
1	スポーツ振興を通じた国内外からの誘客	160
2	地方への旅行の促進	161
3	ホストシティ・タウン構想の推進	161
4	航空による地方へのアクセスの充実	161
(1)	羽田空港における乗継利便性の向上	161
(2)	航空路線の新規就航・増便を促進するインセンティブ付与	161
(3)	地方空港における税関及び出入国管理の緊急の体制整備	161
第5節	オリンピック・パラリンピック開催を契機としたバリアフリー化	161
1	公共施設等のバリアフリー化	161
2	ホームドアの整備促進	162
3	航空分野のバリアフリー化	162
第7章 観光旅行の環境整備		163
第1節	宿泊施設、食事施設、案内施設その他の旅行に関する施設及び公共施設の整備	163
1	観光振興等に資する地域づくり、街並み整備	163
2	都市再生・地域再生に資する市街地再開発事業の推進	163
第2節	旅行業務に関する取引の公正の維持等	163
第3節	旅行の安全確保	163
第4節	高齢者、障害者、外国人その他の観光旅行者が円滑に旅行できる環境整備	163
1	公共施設等のバリアフリー化	163
2	ユニバーサルツーリズムの促進	163
3	地域公共交通の活性化・再生	164
4	バスの利便性向上	164
5	道路交通の円滑化	164
6	安全で快適な自転車利用環境の創出	164
第5節	観光地域における環境の保全等	164
1	国立・国定公園の保護と利用の推進	164
2	世界自然遺産地域の適正な保全・管理	165

第6節 観光に関する統計の整備 165

資料1	地域別の外国人旅行者受入れ数及び国際観光収入	169
資料2	国際観光収支の状況(2013年(平成25年))	169
資料3	日本の国際観光収支の推移	170
資料4	海外旅行者数ランキング(2012年(平成24年))	170
資料5	海外旅行者数上位20か国の国民1人当たり海外旅行回数(2012年(平成24年))	171
資料6	国別の国際会議開催件数(2014年(平成26年))	171
資料7	アジア大洋州・中東地域の都市別国際会議(2014年(平成26年))	172
資料8	日本人延べ宿泊者数の月別推移(2014年(平成26年))	173
資料9	外国人延べ宿泊者数の月別推移(2014年(平成26年))	173
資料10	都道府県別の延べ宿泊者数・外国人延べ宿泊者数・宿泊施設の定員稼働率、 客室稼働率(2014年(平成26年))	174
資料11	都道府県別延べ宿泊者数(2014年(平成26年))	175
資料12	都道府県別外国人延べ宿泊者数(2014年(平成26年))	176
資料13	都道府県別の延べ宿泊者数の構成(2014年(平成26年))	177
資料14	都道府県別の外国人延べ宿泊者数の構成(2014年(平成26年))	178
資料15	国・地域別の外国人延べ宿泊者数の構成・上位5都道府県(2014年(平成26年))	179
資料16	都道府県別宿泊施設の定員稼働率(2014年(平成26年))	180
資料17	都道府県別宿泊施設の客室稼働率(2014年(平成26年))	181
資料18	都道府県別の実宿泊者数・1人当たり平均宿泊数・外国人実宿泊者数・ 外国人1人当たり平均宿泊数(2014年(平成26年))	182
資料19	都道府県別の実宿泊者数(2014年(平成26年))	183
資料20	都道府県別の外国人実宿泊者数(2014年(平成26年))	184
資料21	都道府県別の実観光入込客数・観光消費額(2013年(平成25年))	185
資料22	日本人海外旅行者の国・地域別訪問者数(受入れ国(地域)統計)	186
資料23	日本人海外旅行者の性別構成比の推移	188
資料24	日本人海外旅行者数の性別・年齢階層別の推移	188
資料25	出国日本人の旅客輸送の状況	189
資料26	日本人海外旅行者の滞在期間比率の状況	189
資料27	訪日外国人旅行者数の国・地域別の推移	190
資料28	訪日外国人旅行者数の国・地域別の推移	191
資料29	訪日外国人旅行者の国・地域別延べ宿泊者数(2014年(平成26年))	191
資料30	訪日外国人旅行者数の月別推移(2014年(平成26年))	192
資料31	訪日外国人旅行者の訪問率上位都府県の推移	192
資料32	訪日外国人旅行者数の目的別推移	193
資料33	訪日外国人旅行者の目的別割合(2014年(平成26年))	193
資料34	国・地域別訪日外国人旅行者の目的別比率(2014年(平成26年))	194
資料35	国・地域別訪日外国人旅行者の旅行形態比率(全目的)(2014年(平成26年))	195
資料36	国・地域別訪日外国人旅行者の旅行形態比率(観光・レジャー目的) (2014年(平成26年))	195

資料37	入国外国人の旅客輸送の推移	196
資料38	訪日外国人旅行者の滞在期間比率の状況	196
資料39	訪日外国人旅行者の国・地域別旅行消費額（2014年（平成26年））	197
資料40	訪日外国人旅行者の国・地域別旅行支出構成比（2014年（平成26年））	198
資料41	訪日外国人旅行者の満足度・再訪意向	199
資料42	日本人旅行者の1人1回当たり旅行消費額	199
資料43	旅行消費額の推計（2013年（平成25年））	200
資料44	国内の旅行消費額の市場別内訳（2013年（平成25年））	200
資料45	日本国内における旅行消費額の経済効果（2013年（平成25年））	201
資料46	旅行消費が日本国内にもたらす経済効果（2013年（平成25年））	201
資料47	旅行消費が日本国内にもたらす産業別経済効果（2013年（平成25年））	202
資料48	旅行関連の支出の推移	202
資料49	日本国内の輸送機関別旅客輸送量の推移	203
資料50	今後の生活の力点	203
資料51	今後の生活の力点の推移	204
資料52	余暇活動の潜在需要上位10種目（2013年（平成25年））	204
資料53	現在の生活に対する満足度（2014年（平成26年））	205
資料54	宿泊業労働者の労働時間及び給与額（2014年（平成26年））	206
資料55	観光関連産業の事業所に関する集計－産業横断的集計（売上（収入）金額等） （2011年（平成23年））	207
資料56	各産業のGDPに対する割合（2013年（平成25年））	208
資料57	観光庁関係予算（平成27年度）	209
資料58	観光庁関係予算の推移	210

図表の目次

図表 I-1	主要国・地域の実質経済成長率の推移	4
図表 I-2	国際観光客到着数の推移	4
図表 I-3	国際観光客到着数と実質世界GDPの推移	5
図表 I-4	地域別国際観光客数（2014年（平成26年））	5
図表 I-5	国際観光客受入数の地域別シェア（2004年（平成16年）－2014年（平成26年））	6
図表 I-6	国際観光客の年平均伸び率の予測	6
図表 I-7	外国人旅行者受入数ランキング（2013年（平成25年））	7
図表 I-8	空路又は水路による外国人旅行者受入数ランキング（2013年（平成25年））	8
図表 I-9	国際観光収入ランキング（2013年（平成25年））	9
図表 I-10	国際観光支出ランキング（2013年（平成25年））	10
図表 I-11	訪日外国人旅行者数の推移	12
図表 I-12	訪日外国人旅行者の内訳（2014年（平成26年））	13
図表 I-13	訪日外国人旅行者数の季節変動	14
図表 I-14	訪日外国人旅行者による消費の推移	15
図表 I-15	訪日外国人消費の四半期の推移	15
図表 I-16	世界及び地域別の国際会議開催件数の推移	16
図表 I-17	アジア・大洋州における主要国の国際会議開催件数 （1995年（平成7年）－2014年（平成26年））	17
図表 I-18	アジア・大洋州地域の主要国の国際会議開催件数に対する日本のシェア推移 （1995年（平成7年）－2014年（平成26年））	17
図表 I-19	日本人の海外旅行者数の推移	18
図表 I-20	訪日外国人旅行者数と出国日本人数の合計の推移	18
図表 I-21	国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数の推移（2014年（平成26年））	19
図表 I-22	国内宿泊観光旅行延べ人数、国内日帰り観光旅行延べ人数の推移	19
図表 I-23	国内旅行消費額の推移	20
図表 I-24	日本人・外国人の延べ宿泊者数の推移	20
図表 I-25	宿泊施設タイプ別の客室稼働率の推移	21
図表 I-26	客室稼働率の推移	21
図表 I-27	宿泊施設タイプ別の外国人延べ宿泊数の割合の推移	22
図表 I-28	都道府県別の外国人延べ宿泊数の割合の推移	22
図表 I-29	観光客中心の宿泊施設の日本人延べ宿泊者数 （2010年（平成22年）を100とした指数の推移）	23
図表 I-30	観光客中心の宿泊施設の訪日外国人延べ宿泊者数 （2010年（平成22年）を100とした指数の推移）	24
図表 I-31	ビジネス客中心の宿泊施設の延べ宿泊者数 （2010年（平成22年）を100とした指数の推移）	25
図表 I-32	地域ブロック別延べ宿泊者数の推移	25
図表 I-33	地域ブロック別外国人延べ宿泊者数の推移	26

図表 I - 34	延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数の伸び率 (2011年(平成23年)から2014年(平成26年)の3年間の平均年伸び率) …	26
図表 I - 35	延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数の 地方ブロック別対前年比2014年(平成26年) ……………	27
図表 I - 36	地方ブロック別都道府県別外国人延べ宿泊者の 国・地域別構成比2014年(平成26年) ……………	27
図表 II - 1	訪日外国人旅行者による消費の推移(再掲) ……………	40
図表 II - 2	1996年(平成8年)以降の旅行収支の推移および 2014年(平成26年)1月以降の各月の動き ……………	41
図表 II - 3	訪日外国人旅行消費額の費目別構成比(2014年(平成26年)) ……………	41
図表 II - 4	買物代、宿泊料金、飲食費等の費目別消費額 ……………	42
図表 II - 5	品目別の購入率(2014年(平成26年)) ……………	42
図表 II - 6	品目別の購入者単価(2014年(平成26年)) ……………	43
図表 II - 7	訪日の動機(2014年(平成26年)) ……………	44
図表 II - 8	国・地域別の訪日動機(2014年(平成26年)) ……………	45
図表 II - 9	国・地域別の消費状況(2014年(平成26年)) ……………	45
図表 II - 10	国・地域別の消費額の構成比 ……………	46
図表 II - 11	買物代、宿泊料金、飲食費等の費目別消費額(2014年(平成26年)) ……………	47
図表 II - 12	国・地域別の品目別購入率(2014年(平成26年)) ……………	49
図表 II - 13	国・地域の買い物場所の違い(2014年(平成26年)) ……………	50
図表 II - 14	国・地域による購入方法・決済手段の違い(2014年(平成26年)) ……………	51
図表 II - 15	インバウンド消費拡大の主な要因 ……………	52
図表 II - 16	GDPの変化と訪日外国人旅行者の変化との関係(2009年から2014年) ……………	53
図表 II - 17	訪日外国人旅行者が満足した商品の購入理由(2014年(平成26年)) ……………	53
図表 II - 18	訪日外国人旅行者による旅行消費額と為替レートの推移 ……………	54
図表 II - 19	円・ドル及びアジアの現地通貨における為替レートの推移 ……………	55
図表 II - 20	消費税の免税制度対象品目拡大の概要 ……………	56
図表 II - 21	免税店の店舗数の推移 ……………	56
図表 II - 22	免税店の都道府県別の分布 ……………	57
図表 II - 23	消費税の免税対象品目の拡大等による免税制度利用の変化 (2014年(平成26年)) ……………	58
図表 II - 24	2014年(平成26年)10-12月期における 国・地域別の消費税免税制度利用状況 ……………	58
図表 II - 25	消費税免税制度の利用の有無による消費額の違い(2014年(平成26年)) ……………	59
図表 II - 26	外国人宿泊数の推移 ……………	67
図表 II - 27	高山市における訪日外国人旅行者の宿泊客数の推移 ……………	70
図表 II - 28	外国人延べ宿泊者数の推移 ……………	72